

點で銀河系經度零度の所だ。

本文の後半即銀河系座標に關する部分に就ては次の書を參考にした。

Annuaire de L' Observatoire Royal de Belgique, 1923.

一月號を本號で豫備智識を終り、次號より本文に入る。

名前のいろいろ

天文臺人

寄 附 者

一九一九年、アメリカのカーネギー研究所に屬するウイソソ山觀測所で當時世界第一の反射望遠鏡が完成した。

夫れはフツカーといふ人の四萬五千弗の寄附によつたもので口徑が百インチ即ち二百五十四センチといふ大物である。

何しろ素敵もなく大きな鏡を造ることであるから、材料のガラスを得るのに有名なフランスの硝子製造所が幾度も鑄直しをやつた程で、寄附者のフツカー氏はさうく其出來榮へを

見るこゝが出来ず一九一一年に没して仕舞つた。それで此放射鏡を完成させるためにカーネギー財團は尙ほ多額の金を投じたのである。此様にして十年餘の日子を費して出來上つた望遠鏡を呼ぶのに、百インチ望遠鏡といつても差支へはないであらうけれ共最初の寄附者の名を記念してフツカー望遠鏡と呼びならはしてゐる。何こやさしい命名法ではなからうか。尙ほ此様な例は決して稀ではなく同じウイソソ山のスノー望遠鏡又チリのミルス分光寫真儀なき、寄附者の名前をつけた例は只に此等に止らないのである。然し其様な名前の附け方は日本なきでは殆んき見掛けぬ所であらう。

一體機械の名前を附けるのにはいろいろなり方がある。その機械の特種の使用法や又特種の構造から名前を附けるであらうし、同じく人の名前を冠ぶせるにしても考案者の名前をこつてハルトマン光度計とかクツクソン浮遊天頂儀とか稱へるし、反射望遠鏡ではニュートン式、グレゴリー式といったものであらう。又工作者、製造業者の名前を冠せて呼ぶものも澤山ある、従つて夫れには番號を附け加へる必要があるこゝは申す迄もない。時計の如きはリーフラーの何番といふ

しクロノメートルではナルダンミかニーガスミかの何番何番
ミ稱へるのである。望遠鏡なごでもザルトリウスだのバンベ
ルヒだの又レブソルド何々ミ呼ぶであらう。

更に天文臺については、主に其所在地の名前を冠するのが
多くて日本なごでも東京天文臺、京都大學天文臺又水澤緯度
觀測所さいふ様に、外國にはグリニッチ天文臺、パリ天文臺
ブルコワ天文臺、ウイルソン山天文臺、ワシントン海軍天文
臺等々々がある。又その創設者及び偉勳のあつた人の名前を
冠らせてローエル天文臺、ロツキヤー天文臺さいふものがあ
る内に、寄附者の名前を其儘まつたものはリツク天文臺、エ
ルクス天文臺であらう。

彼のリツクが自分の墓石の永久に残されるものを求めて、
海中の高塔をすて、リツク天文臺のドームを選んだ事は正
に彼れの選び方に誤りないことを稱するものであつて彼れの
墓石は常こ盤はに、人間の歴史ミ共に残るものであらう。其
相談相手が天文學者であつたことも大に注意する必要がある
であらうし何事にまれ、良い智恵を借りたいならば先づ天文
學者に附くがよからうと思ふ。

尙、學術的の遠征旅行に對して經費を寄附したものの、名を
採つてフツカー學術旅行ミかミルス學術遠征ミ稱へる事もあ
る位である。

此様に名前の附け方呼び方にいろ／＼ある中に、寄附者の
名前を其儘探るごは餘り露骨である。是れ米國の拜金主義
の表現であるごけなす人もないではなからうけれ共、是は人
情國情の相違であつて由來東洋では金錢をひごく蔑視してゐ
る傾きがあるが、金その物にこだわらず大枚の金を投げ出す
眞心を汲みこる事が必要ではなからうか。却つて日本なごに
於て金々ミ蔑視してゐる乍ら、その取扱ひに何ごなく淺つさり
しないのは金に挿はれてゐるご見なければなるまいと思ふ。
命ごかけ換への寄附金で建てた公會堂も中央公會堂であり、
大した寄附金で出来る公園でも場所の名をこつて横網公園ご
呼ぶ。畢竟名前の附け方に色々の種類のあるごを知らない
のではなからうか。これは命名者が知らないさいふのでは無
く日本人一般がさうなのであらう。若し安田公園ごでもいは
うなら安田さいふ富豪の莊園或は私有公園ごでもあるかの様
に誤解するのを氣使つてのこごでもあらうと思はれる。

又國家多事の際、國費の幾分を献上して男爵を授かる様の
事でもあらば、金に爵位をさいいつて密かに慷慨する向もあら
うが夫れは一を見て十を察せざるものご云はねばならない。
何々寄附候事は奇特の事さいいつた感謝狀や木杯銀杯の褒賞も
さる事乍ら、今一步進めて寄附者の名を記念するさいふ事は
更に氣持のよい感謝狀であらねばならない。只寄附金其物を

目せずして、萬金をば其學問の爲めなり其事業なりに投ずる眞情を思ふならば、寄附者を遇するの道として決して過ぎたりとは云へないと思はれる。特に此事は目前の利益を些の目標とせざる天文學に於て強調し得ると思ふ。若し寄附者の眞情にして不純なりと看破するならば其時こそ遠慮なく寄附金を投げ返してやればよいであらう。寄附者には飽くまで謙讓で禮儀正しくありたい。しかし諛諛的で卑劣ではありたくない。(つづく)

通俗天文いろは歌

西岡 芳涯

- 一 い 一等星 皆で十九 あるなれど
我等が見るは 十五なりけり
- 二 同 引力で 海王星の ありどころ
豫報せし人 英のアダムス
- 三 同 一年は 三百六十 五日と
五時四十八分 四十六秒
- 四 同 一月の 三日前後の 太陽と
地球の距離は 最近と知れ
- 五 ろ ローランド 格子で 太陽の
基準スペクトル 確と定めぬ

- 六 は 白鳥が 天の川面に およけるを
ながむる星は 織女牽牛
- 七 同 白羊の 第一點は 春分點
ベガス角の 左下方ぞ
- 八 に 肉眼に うつる 星數 五千ほぎ
同時見ゆるは 二千をこく
- 九 同 二十八の 星座を月の 宿場とぞ
選びし人は 印度國民
- 〇 同 二十九 五三日で お月様
地球をまはる 陰曆の月
- 一 ほ 星の數 寫眞に撮りて 數ふとも
二十億には 及ばざるべし
- 三 同 北極の 指す方向は 移り行き
二萬餘年で 天を一周
- 二 同 北斗の 頭の星と 女帝星
中央にひかる 星は北極
- 四 同 北斗星 第六番は 二重星
ミザル主星で 従はアルコル
- 五 へ ヘルムホルツ 太陽熱の 本源は
其收縮に ありと説きけり
- 六 へ ヘルクルス 織女にさなる 星座にて
太陽系の 進む向點
- 七 同 ベガスや アンドロ、カシオ、ケファイアス
ペルセアスなご 秋の夜の星
- 八 ミ 土星には 衛星十箇 環一つ
主體の徑は 地徑九倍ぞ